

# 少人数ゼミによる 消費者との親密な関係

兵庫県豊岡市 おおきた石材店

おおきた石材店(兵庫 豊岡市)がある豊岡市は但馬地域の中心都市で、人口約8万5千人である。2005年に周辺の城崎町・竹野町・日高町・出石町・但東町と新設合併し、現在の豊岡市となっている。

市営豊岡は新旧2カ所あるものの、古い方は満杯、新しい方は交通アクセスの不便さもあるようである。おおきた石材店では寺院墓地、共同墓地、みなし墓地での建築が仕事の大半を占めているとのことだ。

同社の3代目である大北和彦氏は、PTA、消防団、防犯などの地域のコミュニティに関わる一

方、日本石材産業協会・兵庫県支部の副支部長も務めている。忙しい合間を縫ってフェイスブックやブログで情報発信をしており、そこから仕事につながることもあるというが、同業者とのコミュニケーションツールという意味合いも持たせているようである。

「豊岡市は山陰海岸ジオパークの地域なので、そこで香美町主催のジオカフェというサロンが開かれています。そのサロンで石の話をしたいと頼まれ、今年の春に講師をさせていただきました。それがまちゼミにかかわるきっかけとなりました。」

「私たちの仕事はエンドユーザーとの接点が少ないと思いませんか？それが少し人数制ではあるものの、まちゼミを通してエンドユーザーの方と触れ合え

るの得がたい機会だと考えました。最終的に伝えたいのは「お墓があるってことは素晴らしい」ということに尽きます。」

「苦手意識を克服し異業種とのつながりもまちゼミを始める以前は、人前で話をするに苦手意識を持っていました。大北氏は、だからこそ「基本的には講師として話をするのは億劫だ」という人の気持ちはよくわかるという。しかしながら、実際にゼミをやってみると熱心に話を聞いてくれる人が多く、やりがいを感じたようである。



おおきた石材店が行ったまちゼミの様子。途中、石の値段当てクイズなども用意し、終始和やかな雰囲気で行われたという

「時間は1時間30分なのですが、最初の10分は自己紹介をし、お墓の構造の話、宗派によるお墓の違いの話とつないでいきました。途中で石の値段当てクイズを息抜きとしてはさみ、デザイン墓石の話、そして耐震施工の話で締め括りました。会場のすぐ裏に墓地があるので、話の後に墓地見



おおきた石材店・大北和彦氏



ゼミ後、近くの墓地見学も行い、実例を見ながらの説明も

「お墓参り」の講座を企画

「まちゼミを通して、エンドユーザーの方と接点を持つのと同時に、同じ講師という立場から異業種の方との接点を持つことも魅力です。こうした横のつながりも、これからの時代には大切になってくるのではないのでしょうか。」



「お墓参り」の講座を企画  
おおきた石材店では「正しいお墓参り」の講座を企画

今年8月18日～9月20日まで行われた「第5回とくまるゼミナール」の告知チラシ

### ニューデザイン 塔婆立て

創造の遊びが  
モノに対する  
固定観念の  
隙間に、  
新しい  
可能性を  
形にします。

音も安心、カタつき軽減！  
洋風・和風墓地によく合います。  
高級ステンレス製！

ケーアイ工業株式会社  
〒419-0202 静岡県富士市久沢84-1  
TEL:0545-72-2735 FAX:0545-72-2736  
HP:www.ki-corp.co.jp

「お墓参り」の講座を企画  
おおきた石材店では「正しいお墓参り」の講座を企画

## 100年以上の歴史と実績

# 内垣石

「内垣石」採掘元 (有)大東石材工業所 福岡県京都郡みやこ町尾川大丸1072-2 (TEL) 0930-42-0916 (FAX) 0930-42-0937

## 「石」は日本の貴重な資源です。

九州の銘石「内垣石」

久保聡秀(29歳) 新人:大寺裕次郎(29歳)

主な取扱い国産石種:内垣石、羽黒青黴目石、浮常陸石、牡丹石、やさとみかけ

株式会社 石彩  
愛知県名古屋市中天白区平針2丁目1009平針ビル305号  
TEL 052-806-5050 / FAX 052-806-5071 担当:久保  
E-mail:sekisai@snow.ocn.ne.jp